

文化構想学部複合文化論系 2013年度 ゼミ論文・卒業研究 題目（一部抜粋）

言語文化ゼミ（ことばの歴史・ことばの地理） 上野和昭先生

首都圏の若者における西日本方言の受容と「方言コスプレ」に関する一考察
新聞のテレビ欄における表記方法研究
韻文における「虹」の認識の変遷：和歌文学と現代楽曲の歌詞から見る「虹」

文化人類学ゼミ（＜伝統＞文化とその変動） 西村正雄先生

つきじ獅子祭における「伝統」と継承
神楽坂はなぜブチ・フランスと呼ばれるのか：ランドスケープの観点から
平成を生きる江戸切子職人たち：伝統工芸の現代的課題とその未来

文化人類学ゼミ（文化ツーリズム論） 寺崎秀一郎先生

群馬県大泉町に関する都市の空間意識と多文化共生の構造的変化について
「生活観光」の現状と展望：台東区谷中の事例研究
家族のこれから：精霊流しから家族を考察する

異文化接触ゼミ（アートと異文化コミュニケーション） 坂上桂子先生

近代建築保存の現状と展望：清水重敦の「伝世」概念とデジタルアーカイブに着目して
ライオネル・ファイニンガー作「ゲルメローダ」における教会建築の考察
宮島達男 死の3部作にみるアートと社会の関係性

異文化接触ゼミ（文化変容論） 宮城徳也先生

英国王室御用達にみる西洋紋章文化の変遷と今
日本人の嗜好：多様な食文化のルーツ
19世紀フランスを生きた女性・学生たち：『レ・ミゼラブル』から学ぶ

異文化接触ゼミ（メディア・コミュニケーション論） 高橋利枝先生

現代のカフェは閉鎖的空間に変化したのか：日本人のカフェ利用について考える
学校現場におけるメディア・リテラシー教育
デモにおけるソーシャルメディア：ブラジルのデモ事例から

感性文化ゼミ（芸術／性愛／死） 小林信之先生

日本庭園をひもとく：社会・思想・自然・空間の視点から

「参加型アート」の作品：「開かれた作品」と「リレーショナル・アート」から

音楽と社会の対位法：E.サイード『音楽のエラボレーション』読解

感性文化ゼミ（日本の美意識） 陣野英則先生

「BL」論：「BL」の魅力と現代の二次創作「BL」

岡本太郎論：大阪万博の再定義を中心とする諸考察

エドヴァルド・ムンクの芸術活動にみるニーチェ的思想

恋と映画と資本主義：大林宣彦監督『時をかける少女』論

〈影〉が映り込む写真と同房のポートレート：ファッション写真を取り巻くリアリティーの様相

卒業研究

新しい文体の可能性：インターネット掲示板を中心に（指導教員：上野和昭）

古代中国思想の力学的解釈：『荀子』『荘子』の両理想態にみる儒家的力学と道家的力学（指導教員：陣野英則）